

2020年11月15日（日）聖霊降臨後第24主日
銀座教会 子ども祝福家族礼拝

礼拝招詞 「見よ、イスラエルを見守る方は まどろむことなく、眠ることもない。主はあなたを見守る方 あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。昼、太陽はあなたを撃つことがなく夜、月もあなたを撃つことがない。主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り あなたの魂を見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。」

詩編121編4～8節

主の祈り

使徒信条 我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、
処女(おとめ)マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、
全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

讃美歌 196 うるわしきは 神のみとの、

聖書 マタイによる福音書16章13～20節

牧会祈禱

天の父なる神様、新しい朝が与えられたことに感謝いたします。本日の礼拝は「子ども祝福礼拝」としておささげいたします。私たちの教会に子供たちが与えられていることに感謝いたします。子供たちの健康な生活をお守りください。子供たちの家族の歩みをお守りください。子供たちに仕える教会学校の教師、サムエル会、こひつじルームの働きをお守りください。子供たちと共に神さまを見上げる私たち一人一人の信仰の歩みをお守りください。11月に入り、いよいよ本格的な寒さが始まります。教会員一人一人の健康をお守りください。主日礼拝と家庭礼拝を一つの礼拝としてお守りください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

説教 「聖なる公同の教会、聖徒の交わり」

伝道師 藤田 健太

これまで私たちは使徒信条のなかで、主イエス・キリストの「死」と「復活」、「昇天」と「再臨」をたどりながら、使徒信条の信仰告白の意味を共に考えてきました。本日の直前の箇所には「我は聖霊を信ず」とありました。聖霊なる神を信ずる信仰の上に、本日の「**聖なる公同の教会、聖徒の交わり**」の告白がきます。聖霊の働きなしに「聖なる公同の教会」と「聖徒の交わり」はありません。聖霊の働きのゆえに、教会はこの世の交わりと一線を画す特別な交わりとしての性質を与えられます。「聖なる」という言葉はこの世からの区別を指します。また、「公同の」という言葉

は、この地上のどこにあっても、教会が一つであることを意味します。「聖なる公同の教会、聖徒の交わり」を信ず。「この地上の交わりとは一線を画す、地上のどこにあっても一つである特別な交わりが私たちの内にあることを信じます」—私たちは主日毎に、そのような信仰を神様に向かって告白していることを覚えましょう。

そのような教会の交わりが聖霊なる神様のお働きのもと与えられているわけですが、その事実を私たちはマタイによる福音書16章13～20節のエピソードから知ることができると考えます。ヘロデ大王の息子の一人であるヘロデ・フィリポが、支配者であるローマ皇帝に敬意を表して名付けたとされる「**フィリポ・カイサリア**」が本日の物語の舞台となります。ローマの皇帝をあがめるこの地域で、地上についての権威の問答がなされたことは偶然ではありません。私たちもまた、教会で誰を信じているのかが問い直されます。ローマの皇帝のような力を持った特定の誰かを私たちは信じているわけではありません。本日の箇所、シモン・ペトロが告白するように、教会は「**生ける神の子**」であるキリストを信じる人々の群れだからです。地上の誰かではなく「生ける神の子」であるキリストを主と告白する私たちの上に聖霊の特別な働きが与えられます。聖霊のお働きがあるところに「聖なる公同の教会」と「聖徒の交わり」が実現します。

主イエスは弟子たちに向かって「**人々は、人の子のことを何者だと思っているか**」とお尋ねになりました。すでに14章のエピソードにおいて、ヘロデ・アンティパスは主イエスのことを「洗礼者ヨハネの生き返り」だと考えました。民衆たちはイエスを古の「預言者の再来」だと考えました。それを踏まえ、主イエスは、今度は弟子たちに向かってお尋ねになります。「**それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか**」。「**あなたはメシア・生ける神の子です**」。地上の権威が「神の子」であるキリストのもとにあることをペトロは正しく告白しました。主イエスはこの告白を「**人間ではなく、わたしの天の父**」による告白であるとほめたたえます。私たちの内に働く聖霊なる神様の御力が正しい信仰の告白を可能にします。私たちが口にする信仰告白の言葉は、私たちの自由な意思に基づく告白であると同時に、神様の御意志に基づく告白です。信仰告白を口にする時、私たちは私たちの内に働く聖霊の力を知ることができます。

ペトロの信仰告白は主イエス御自身によって正しい告白と認められました。一方で福音書の物語はペトロの告白に含まれる「弱さ」をも隠さず描き出します。正しい告白をおこなったはずのペトロはその直後、主イエスの「死」と「復活」の事実を否定してしまいます(21節以下)。そんなペトロに向かって、イエスは次のように言われました。「**サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。**」ペトロの信仰告白の「弱さ」は主イエスが捕らえられ、連れて行かれた「大祭司の家の中庭」で目に見えるかたちで現れてしまいます。呪いの言葉さえ口にしながら、主イエスと自分の関係を否定したペトロの姿に、私たちは自らの信仰の「弱さ」を重ねることができるでしょう。

しかし、本日の箇所、ペトロがおこなった信仰告白は主イエス御自身によって正しい告白と認められました。「弱さ」を抱えたペトロの告白は「**からしだね**」ほどの信仰から出た告白であったと

言って良いでしょう。しかしそのような信仰による告白の上に、主イエス・キリストは「わたしの教会を建てる」とおっしゃってくださったのでした。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」私たちの信仰告白の上に建てられるキリストの教会は陰府の力にもまさると言われます。さらには、神の子のまことの権威がキリストの教会にも与えられると言われます。教会は地上の特定の誰かの力によってではなく、聖霊の働きによって建てられる特別な交わりであることを先に申しました。主イエス・キリストを神の子と信じる「からしだね」ほどの信仰の上に、聖霊の特別な働きが与えられます。福音書に描かれるペトロの信仰にわたしたち自身の信仰を重ねる時、私たちは私たちの信仰の「弱さ」をおぎなうて余りある神様の御力を見出すこととなります。同時にわたしたちは、兄弟姉妹を励ますことによって「聖徒の交わり」に仕えることができることをも知らされます。「わたしはあなたのために信仰がなくならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(ルカ22:32)「弱さ」を抱えたペトロの信仰告白には主イエスの祈りが絶えず伴っていることをおぼえましょう。「弱さ」を抱えた私たちの信仰を「岩」のような堅固な信仰としてお用いになることができるのは、聖霊なる神様の働きです。「我は聖霊を信ず」―「聖なる公同の教会、聖徒の交わり」を信ず。聖霊なる神様のお働きが、私たちの教会を特別な交わりとして立てあげてくださっていることに大きな希望と慰めを見出しましょう。

祈り 天の父なる神様、あなたが私たちの教会を特別な交わりとして立てあげてくださっていることに感謝いたします。弱さを抱えた私たちの信仰の上にもあなたはこのような交わりを打ち立ててください。地上の荒波に揉まれる教会が、あなたから与えられている本来の信仰を失うことがないようにお守りください。聖霊なる神様の御力に支えられて「聖なる公同の教会」を実現することができますように。私たちの教会だけでなく、近隣の諸教会、日本基督教団の諸教会、世界の諸教会をもまた、一つの交わりの内にお守りください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

祈 禱(各自、自由にお祈りください)

祈禱課題 ウイルスの脅威の中であって平和と平安をお与えください

教会学校・サムエル会・こひつじルームに集う子どもたちの健やかな成長のため
今年度の召天者とそのお一人おひとりのご生涯、ご家族の慰めをおぼえて

讚美歌 514番 よわきものよ、われにすべて

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、
あなたがた一同と共にあるように。

アーメン